


分野	43	産業
施策	431	商工業・観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	創業支援事業		会計	款	項	目	129,499	商工観光課
			一般	7	1	2		
事業の概要								
<p>創業者の増加は市内商店の増加だけではなく、課題となっている空き店舗対策や、小売店増加による市民の生活基盤安定等、地域経済の活性化や生活基盤の安定にも繋がるものであることから、創業支援計画に基づいて、創業・起業希望者の支援を行います。</p>								


平成29年度の取組							
D (取組)	指標	新規創業相談者数(創業支援計画に基づく支援事業内容ごとの累計)				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	平成28年度 新規事業	目標	70	85	100	115	130
		実績	89	166			
	指標	新規創業者数(創業支援計画に基づく支援事業内容ごとの累計)				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
平成28年度 新規事業	目標	25	30	35	40	43	
	実績	6	30				
<p>・創業支援リーフレットの改訂、増刷を行い、商工会等の創業支援機関や市内公共施設へ配架し、制度周知を図りました。 ・創業支援機関と創業支援連絡会議を2回開催し、情報の共有化を図り、今後の事業展開について調整を図りました。 ・創業支援機関や市内先輩創業者等と連携のうえ、創業希望者を対象としたイベント(ビジネスカフェ)を3回開催しました。</p>							
						<p>ビジネスカフェ</p> 	

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		新たな起業家数(新設・廃業)	平成26年度及び平成28年度の新設事業所数と廃業事業所数を比較すると、新設事業所、廃業事業所共に減少している状況です。	206
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	・市の関係部署と連携を強化し、様々な連携機関と共に、段階に応じた支援を行った結果、相談者数、新規創業者数ともに目標値を達成することができ、創業支援計画に基づく支援を行うことができました。	
課題等	<p>・新規創業に関する相談者数は、目標数値を大幅に上回っていることから、創業希望者を対象としたイベントについて、一歩進んだ内容を盛り込み、実際の創業に結び付けていくことが必要です。</p>			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	<p>方向性</p> <p>対応策等</p> <p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>・新規創業に関する相談者が、実際の創業をイメージし、具体的な創業準備につなげることができるように、ガラシャ祭での出店体験等、創業に向けた取り組み内容の充実を図ります。</p>

分野	43	産業
施策	431	商工業・観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	商工会支援事業		会計	款	項	目	16,211,000	商工観光課
			一般	7	1	2		
事業の概要								
地域商工業の発展や、中小企業の育成を推進するため、商工会の組織強化と実施する経営指導や人材育成など各種事業を支援します。また、高齢者や子育て世帯へのプレミアム付き商品券事業の新たな展開を図るとともに、「婚活」事業にも支援を行い定住促進に繋がります。								

平成29年度の取組								
D (取組)	指標	商工会員数					単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
	1,084 (平成26年度)	目標	1,140	1,150	1,140	1,150	1,160	
		実績	1,112	904				
<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者への経営改善指導、地域振興策への支援を行うため、経常的経費に12,044千円、特別事業費に4,167千円の支援を行いました。地域商工業の総合的な改善発達を進め、地域商工業の発展、中小企業育成を図りました。 						インキュベーションスペース 「あいことば」 		

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	市内民間事業所数・従業員数の推移		事業所数は、平成21年度から平成28年度まで、年々減少しており、それに伴い、従業員数も減少している傾向です。	206
		B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	・会員数についてはこれまで、平成18年度実施の事業所・企業統計調査時の会員数を基礎とし、年度ごとの増減により算出していました。平成26年から4年かけて商工会が事業所の廃業実態を調査した結果、商工業者の資格を喪失した事業所が存在することが判明し減少となりました。経常事業として、経営改善に係る指導等への支援を推進するとともに、特別事業として、創業促進・育成事業やプレミアム付き商品券事業、各種イベントや販路開拓事業等に対して支援を行い、市内商工業の経営発達の推進に取り組みました。	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継が進まないことが課題です。 ・商工会の会員数が減少しているため、新規創業者を増加させる必要があります。 				

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継についてのセミナー実施についての支援をします。 ・新規創業者への創業支援について、創業塾等のセミナーやインキュベーション施設活用への支援を行い、事業所数増加につなげます。

分野	43	産業
施策	431	商工業・観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	企業誘致の促進		会計	款	項	目	3,702,780	商工観光課
			一般	7	1	2		
事業の概要								
既存企業や事業所の動向を注視しつつ、京都府や長岡京市経済協議会との情報共有を図るとともに誘致促進に向けた体制を整えるため、特に東部工業地域における農家の意向調査や土地所有者への情報提供を行い、誘致施策に取り組めます。								


平成29年度の取組								
D (取組)	指標	企業進出に係る相談件数				単位	件	
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
	5(平成22～26年度 累計)	目標	2(2) ※()内は期間累計		2(4)	3(7)	3(10)	4(14)
		実績	5(5)		1(6)			
	指標	5年間で企業立地促進助成対象となった企業数(累計)				単位	件	
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32	
1(平成26年度単年度 助成対象企業数)	目標	1		1	2	2	3	
	実績	1		1				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿泊施設の立地等に対する補助制度「長岡京市宿泊施設立地等促進事業費補助金交付要綱」を新設しました。 ・ 企業立地審査会を開催し、誘致推進に取り組めました。 ・ 長岡京市企業立地促進条例及び長岡京市企業立地促進条例施行規則について、1年間の期間延長を行いました。 ・ 長岡京市企業立地促進条例及び長岡京市企業立地促進条例施行規則に基づき、助成金を交付しました。(参考) 操業支援助成金479,000円 地元雇用促進助成金3,200,000円 								

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応具
		—	—	
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企業立地に関する相談件数については目標値を下回りましたが、宿泊施設誘致に向けた補助制度を新設し、企業誘致に向けた制度の充実を図りました。 ・ 平成28年度から相談を受けていた事業所について、企業立地審査会を開催し、指定に至りました。
	課題等			<ul style="list-style-type: none"> ・ 阪急西山天王山駅の開業、長岡京ICの開設、京都縦貫自動車道の完成等により交通の利便性が向上し、本市への企業進出ニーズが高まっていることが推察されるなか、従来の東部工業地域に加え、新たな誘致対象エリアも見据え、誘致策を講じていく必要があります。

目標達成に向けての次年度以降の対応					
A (行動)	<table border="1"> <tr> <th>方向性</th> <th>対応策等</th> </tr> <tr> <td>1: 計画通りに進めることが適当</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阪急長岡天神駅及び阪急西山天王山駅周辺地域等への誘致促進に向けた手法を検討し、企業立地促進条例及び施行規則の改正を行います。 </td> </tr> </table>	方向性	対応策等	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阪急長岡天神駅及び阪急西山天王山駅周辺地域等への誘致促進に向けた手法を検討し、企業立地促進条例及び施行規則の改正を行います。
方向性	対応策等				
1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阪急長岡天神駅及び阪急西山天王山駅周辺地域等への誘致促進に向けた手法を検討し、企業立地促進条例及び施行規則の改正を行います。 				

分野	43	産業
施策	431	商工業・観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	産業文化会館維持・更新事業		会計	款	項	目	20,484,200	商工観光課
			一般	7	1	3		
事業の概要								
老朽化が著しい産業文化会館について、建替えや移転、複合施設への再編など商工会や会館運営委員会との協議・検討を進めるとともに、公共施設検討会議の中でも優先課題として検討を進めます。なお、修繕対応については計画的に取り組み、施設の維持管理を適切に行います。								


平成29年度の取組							
D (取組)	指標	産業文化会館年間利用者数				単位	人
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	70,963 (平成22～26年度5 か年平均)	目標	71,000	71,000	71,000	71,000	71,000
		実績	80,960	69,436			
<ul style="list-style-type: none"> ・今後の産業文化会館の在り方について、商工会等と調整を進め、産業文化会館運営委員会を開催し、委員の方から意見聴取を行い、機能移転に向けた課題の整理を行いました。 ・苦情や備品の故障等、日々の事象に対応する中で、安全性を重視し、優先順位を付けながら、修繕を実施しました。(階段ホール修繕、非常照明修繕、消防用設備修繕、受水槽設備修繕等) 						産業文化会館	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
			—	—
C (評価)	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%～100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・長岡京駅前線(第3工区)整備工事による道路拡幅工事に伴い、平成29年5月29日から産業文化会館前広場の使用が出来なくなったことにより、利用者数が減少したと考えられますが、複合施設への機能移転を見据え、利用者が安全に会館を利用していただくことができるよう、計画的に修繕を実施するなど会館の適正な管理運営に取り組みました。
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進行する中、十分な修繕ができていないことが課題です。 ・複合施設への機能移転が決定したことから、庁舎等再編整備基本計画に基づき、課題の整理を行う必要があります。 		

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕計画に基づき、緊急性、安全性を重視し、引き続き計画的かつ効率的な修繕を行います。 ・庁舎等再編整備基本計画に基づき、今後の産業文化会館の在り方について、産業文化会館運営委員会、商工会等と調整を進めていくとともに、産業文化会館運営委員及び利用者の方にアンケートを実施し、意見を集約し、課題の整理を行います。 ・適正な会館利用料について、検討を行います。

分野	43	産業
施策	431	商工業・観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	観光戦略プランの見直しと推進		会計	款	項	目	4,970,880	商工観光課
			一般	7	1	4		
事業の概要								
観光戦略プラン推進本部会議を本市の観光施策展開におけるシンクタンクと位置付け、マーケティング調査結果や各種事業結果の分析に基づいたアクションプログラムの見直しを行います。また、包括的な視点で進捗管理を行うことで、より魅力的なまちづくりと効果的な観光誘客促進につなげます。								


平成29年度の取組							
D (取組)	指標	観光消費の向上に取り組む店舗・事業者数(累計) (※平成29年度からの目標指標)				単位	件
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	平成28年度 新規事業	目標	観光戦略プラン及び アクションプログラム 見直し	20	40	60	80
		実績	新・長岡京市観光戦略 プランの策定	21			
<p>・市内外の方やマスコミに対し、新たな長岡京市の魅力を知ってもらう機会を提供し、また、事業者・市民の機運の醸成を図ることを目的に、平成29年3月に策定した「新・長岡京市観光戦略プラン」のキックオフイベントを実施しました。</p> <p>また、新・長岡京市観光戦略プランに掲げるアクションプログラムの着実な進捗管理を行うため、長岡京市観光推進本部を設置し、施策の実施状況等の把握、進捗管理を行いました。</p> <p>その他、観光創造に取り組むチームづくりを行っていく場である「観光創造部会」を新たに設置し、それぞれのチームで推進している観光振興の取組みについての情報共有を行いました。</p>						<p>新・長岡京市観光戦略プラン キックオフイベント</p> 	

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	観光入り込み客数・一人あたりの観光消費額(年間)		インフラ整備の充実により観光消費額を向上させるために取り組んでいるものの、天候不順、主要観光拠点の改修工事等の外的要因により減少しました。	205
		A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・「新・長岡京市観光戦略プラン」を周知するために、平成29年7月30日に開催したキックオフイベント開催時に、観光創造につながる取組みに興味を持っている市内の事業者や団体、また、市民や旅行会社に向け「新・長岡京市観光戦略プラン」の主旨を説明し、平成30年3月には、本プランに位置づけられる個別の取組みを推進する事業所や団体の情報交換の場である観光創造部会を設立することができました。 	
課題等	・新たな観光創造を担う事業者や人材を発掘するための情報が不足しています。				

目標達成に向けての次年度以降の対応	
A (行動)	方向性
	<p>1: 計画通りに進めることが適当</p> <p>対応策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡京観光まちづくり協議会の中核となる「長岡京市観光推進本部」において、「新・長岡京市観光戦略プラン」に基づく、新たな観光創造に取り組む事業者、団体等が発掘するため、情報収集を行います。 ・本プランの推進母体である市・観光協会・商工会が本プランに沿った各団体が主体となる事業について、毎年の達成状況及び次年度の目標設定について情報共有し、目標達成管理を行います。 ・長岡京市内で観光のまちづくりに取り組む基盤を作るために、新たなプランに基づいた動きをする店舗・事業所(新たな観光創造を担う人材)を引き続き、発掘します。

分野	43	産業
施策	431	商工業・観光の振興
5年後の目標		都市活力の基盤を守る工業が元気で、商業・観光がもたらすにぎわいと交流に、まちがさらに活気づいている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	観光誘客のための環境整備事業		会計	款	項	目	45,919,578	商工観光課
			一般	7	1	4		
事業の概要								
観光バス駐車場(待機所)の計画的な整備や、物流・販売・にぎわい創出拠点としての農・商・観連携による「道の駅」的施設の設置検討を行うなど、観光誘客インフラ整備の充実を図ります。また、高速バス停や阪急西山天王山駅などを活用した新たな誘客・消費システムの構築に向けた各種事業の展開を図ります。合わせて乙訓二市一町や京都府北部、京都市などと「広域連携」をキーワードに広域的な事業展開を図ります。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	道の駅的施設設置				単位	—
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	庁内ワーキンググループでの検討 (平成27年度)	目標	マーケティング調査実施及び外部設置検討委員会設立	基本構想の策定及び調査設計実施	実施設計実施及び工事着手	道の駅的施設の竣工及び施設運営委員会設立	—
実績		長岡京市道の駅的施設整備基本構想の策定	長岡京市道の駅的施設設置検討に向けた農業関係者専門部会中間報告書の作成				
<ul style="list-style-type: none"> 農業関係者専門部会を立ち上げ、魅力ある農産物直売所のあり方として、特に導入機能等について議論を深めるとともに、その実現のために必要となる地元の生産体制や施設の運営体制等について検討を実施し、「長岡京市道の駅的施設設置検討 農業関係者専門部会中間報告書」をとりまとめました。 庁内検討会議を立ち上げ、「長岡京市道の駅的施設整備基本構想」を共通認識し、情報共有する中で課題整理を進めました。 					 <p>長岡京市道の駅的施設設置検討 農業関係者専門部会中間報告書</p>		

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		—	—	—
	達成度合	B: 目標をほぼ達成できた(目標の80%~100%程度)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 今年度の農業関係者専門部会としては、魅力ある農産物直売所のあり方として、特に導入機能等について議論を深めるとともに、魅力的な農産物直売所を整備するためには、地元生産者を組織化する等、地元が一体となって取り組む必要がある一方で、施設の整備や運営に当たっては、民間事業者の資金やノウハウ等が必要であることから、地元組織と民間事業者が連携して施設の整備・運営に取り組むべきであることが確認できました。
課題等	現時点において計画地が決定していないため、具体的な施設規模等のイメージ共有が出来るところまでは至っていません。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	2: 進め方の改善の検討が必要 <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に引き続き、農業関係者専門部会において、安定的な農産物供給のために、農業者自らが主体となる農業者生産組織の在り方やその体制についても、さらに農業関係者の意見を整理し、長岡京市に合った出荷体制の組織化に向けた検討を行います。 計画地の検討に向けて必要な関連する法規制や事業化に向けた補助メニュー等の情報収集を行います。